

事業所名 グループホームこころ

作成日: 平成 23年 3月 24日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |   |            |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題                                    | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35   | 避難訓練が未だ実施できていない状況。火災の他、地震も含めた災害に備えた訓練を実施する必要あり。 | #1 火災通報装置の操作法をスタッフ全員が習熟できる。<br>#2 併設する老健施設と共同での避難訓練を実施できる。※地域住民(消防団等)も交えた訓練の実現。 | #1 操作訓練(皆が習熟できるよう複数回開催予定)<br>#2 防火管理者と避難訓練内容について話し合いを行う。                                    | 12ヶ月       |
| 2        | 2    | 地域の社会資源の利用や交流は、少しずつ取り組んでいるが、地域住民との交流は未だ少ない。     | #1 町内会に加入し、さまざまな形で地域住民との交流が持てるようになる。<br>#2 地域住民が「グループホームとは何か？」理解できるようになる。       | #1 区長会会長へ、町内会加入の相談をする。加入できた場合は、地域活動・行事等への参加をする。<br>#2 地域住民に「グループホームとは？」を理解していただけるような機会を設ける。 | 12ヶ月       |
| 3        | 13   | 職員の間、認知症に関する知識・理解に差がある。                         | 認知症の理解とケアの基本について学ぶことができる。※ホーム内勉強会の計画的開催の実現。                                     | テーマ・内容を検討し、年間計画を作成し、実施していく。   | 12ヶ月       |
| 4        |      |   |   |   | ヶ月         |
| 5        |      |   |   |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。